

日光森林管理署の概要



鬼怒川及び渡良瀬川の両森林計画区に属し、宇都宮市、足利市、佐野市、鹿沼市、日光市及び益子町に所在する林野庁所管の国有林約8万5千haを管理しています。

国有林面積の約91%が保安林であり、水源のかん養や土砂流出防備等の観点から重要な役割を担っています。また、約68%が保護林や緑の回廊に指定されており、さらに約61%が日光国立公園等の自然公園に指定されているなど、生物多様性の保全や観光の振興の面から貴重な森林となっています。

管内の国有林では、古くから人工林が造成されてきましたが、原始的な天然林も数多く残されており、木材の有効利用と自然環境の維持・保全が両立した管理経営を進めています。

【組織】

森林管理署（署長、次長、地域林政調整官、森林情報管理官、総務グループ、業務グループ、治山グループ）

森林事務所 9、治山事業所 1

【職員数（定員内）】

24人（令和8年4月1日現在）

【管内の国有林】

- ・管内16市町（うち、国有林所在6市町）
- ・国有林面積 約8.5万ha（栃木県森林面積の約24%）
- ・主要樹種 【針】 カラマツ、スギ、ヒノキ
【広】 ブナ、ナラ類

【主要事業量（R8予定）】

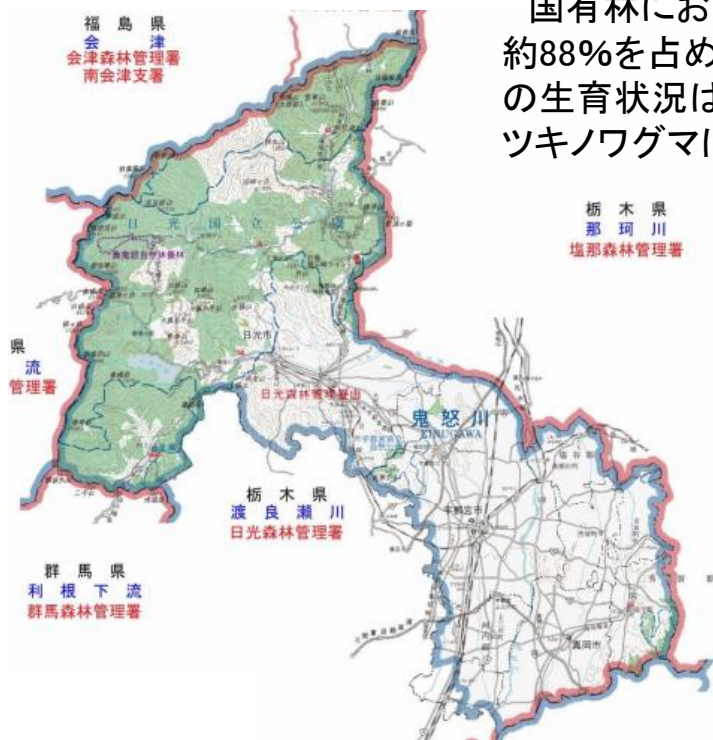
収穫量 81千 m^3 、素材生産量31千 m^3 、販売量（立木：57千 m^3 製品：38千 m^3 ）、植付 37ha、下刈 97ha、保育間伐 437ha、治山事業（工事：4箇所、調査：2箇所）

森林計画区の概要

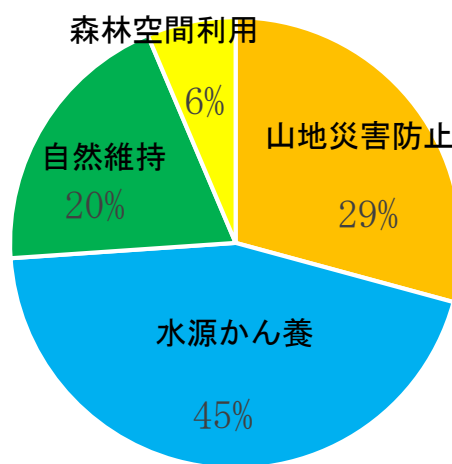
1. 鬼怒川森林計画区の概要

栃木県の北西部から南東部に位置する宇都宮市、日光市、真岡市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、高根沢町の3市5町(うち、国有林は、宇都宮市、日光市、益子町に所在)からなり、国有林面積は約8万2千ヘクタールとなっています。鬼怒川流域の国有林の約98%に当たる約8万ヘクタールが日光市に所在します。那須火山帯の高原火山群や日光火山群等を有する火山地帯でもあります。

国有林における人工林は約21%、区齢級以上(41年～)が約88%を占め、利用期を迎えた林分が多くあります。人工林の生育状況はおおむね良好となっていますが、ニホンジカやツキノワグマによる剥皮等の被害が深刻化しています。



機能類型別面積の割合



第6次国有林野施業実施計画書より(令和5年度樹立)

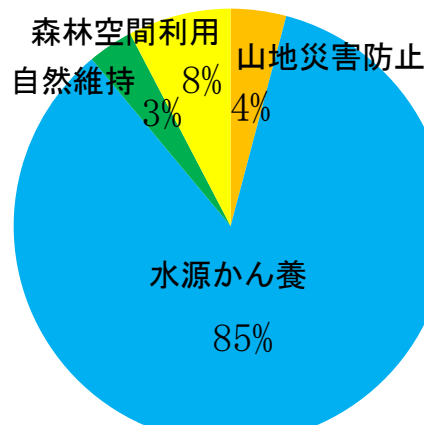
2. 渡良瀬川森林計画区の概要

栃木県の南西部に位置する足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、下野市、壬生町及び野木町の6市2町(うち、国有林は足利市、佐野市、鹿沼市に所在)からなり、国有林面積は約3千ヘクタールあります。足尾山地の一部に当たり、西側北部の薬師岳から南部・南東部にかけて次第に標高を減じながら低山地帯及び丘陵地帯へ続き、関東平野に接しています。

栃木県最大の林業地である「日光林業地」の中核をなしており、林業生産活動が活発です。特に鹿沼市には、木材の集散地として木材市場があり、木材流通の基地となっています。



機能類型別面積の割合



第6次国有林野施業実施計画書より(令和3年度樹立)

日光森林管理署の取組(トピックス)

◆森林・林業施策全体の推進への貢献

1 特定苗木・早生樹の現地適用に向けた取組を推進

本格的な主伐期を迎える中で、再造林コストを低減していくには、早く大きく成長する造林樹種の選択の幅を広げていく必要があります。

令和8年1月に「森林・林業・木材産業の試験研究・技術開発等に係る日光森林管理署と栃木県林業センターの連携・協力に関する協定」

を締結して鞍掛国有林(日光市)に栃木県産の特定苗木^(注)や、ユリノキ、ヤマハンノキ等の早生樹の試験植栽を開始し、共同して成長量等のモニタリングを行っています。

さらに隣接する国有林には、静岡県産の特定苗木と従来のコンテナ苗木を植栽予定であり、このエリアを特定苗木・早生樹の植栽モデルとし、得られた成果を普及していきます。



特定苗木及び早生樹等次世代林業に向けた植栽試験地

(注) 成長が良く(通常の1.5倍以上)花粉が少ない(通常の半分以下)など優秀な遺伝子を持つ苗木、栃木県産の特定苗木は令和8年秋より供給が開始されます。

2 現地検討会等を通じ地域課題の解決や技術力向上に向けた取組を推進

栃木県と国有林の森林総合監理士(フォレスター)及び担当者による「とちぎフォレスターズネットワーク」(事務局:日光署)では、様々な課題やテーマに沿った現地検討会や勉強会を企画・実施しています。

令和8年度は、活動の一層の充実に取り組み、優秀な遺伝子をもつ特定苗木や成長が早い早生樹の現地適用、広葉樹材の高付加価値化、広葉樹を活かした森林づくりなどをテーマとした現地検討会や勉強会を計画しています。

現地検討会や勉強会には、栃木県内の市町や林業関係者にも参加を呼びかけ、民有林と国有林が連携して地域課題の解決や技術力の向上を推進していくこととしています。



令和7年11月に開催した、ニホンジカ・ツキノワグマの生態と効果的な獣害対策検討会の模様

3 国有林材を計画的・安定的に供給

栃木県内の木材需要動向を踏まえながら、国有林材を計画的に供給します。

地域の木材市場での委託販売や伐採現場付近の山元土場での委託販売などにより木材を安定的に供給するとともに、国産材の需要拡大等に取り組む大口需要者に対しては、協定に基づいて木材を計画的に供給する「国有林材の安定供給システム販売」を進めます。

<システム販売の流れ>



国有林山元土場、ストックポイント



バイオマス発電用



国産材2×4製材工場



カラマツの間伐材を積んだ山元土場

直送
大ロットで安定的
に供給

◆公益的機能の一層の発揮

1 森林生態系の保護・管理

日光森林管理署管内の保護林一覧

自然環境の維持、希少な動植物の保護、森林の施業管理技術の発展などに役立てることを目的に国有林内に保護林を設定しています(生物群集保護林1箇所、希少個体群保護林16箇所)。

また、保護林と保護林を結び、野生動植物が移動し、生活の場を広げ、より多様で充実した森林生態系を目指すことを目的として、緑の回廊(2路線、94.4 km)を設定しています。

区分	名称	面積 (ha)	特徴
生物群集保護林			
①	奥鬼怒	3,703	オオシラビソ、シラビソ、トウヒ、コメツガなどからなる原生的な亜高山帯植生とコナラが最も高標高に位置する高層湿原を主体とした地域固有の生物群集を有する森林
希少個体群保護林			
②	裏見の滝コナラ遺伝資源	5	中間温帯林の低海拔地といった特殊な気候条件のもとに成立している、アカマツとコナラが混在した特徴的な群落
③	大真名子コメツガ	12	コメツガが優占し、オオシラビソ、シラビソの混在する群落の希少な個体群
④	小田代湿原	69	湿原から草原に移行する階段の比較的乾燥した湿原で、湿原周囲の比較的乾燥した箇所はイブキトラノオ、タテヤマツグ、ニッコウザサなどが優占する草原
⑤	唐沢コメツガ	57	低標高地に降下した特徴的なコメツガ群落
⑥	刈込湖コメツガ遺伝資源	35	土壌が薄く礫の多い特殊な立地において形成されている、鬼怒川地域においては類を見ない特徴的なコメツガ群落
⑦	黒沢ウラジロモミ・クロベ遺伝資源	14	岩角地といった特殊な立地において形成されているウラジロモミやクロベを主体とした天然針葉樹林
⑧	光徳ハルニレ	14	戦場ヶ原北東部の標高約1,400mのかつての泥濘原に成立している純林状のハルニレ群落
⑨	光徳ミズナラ	24	山王帽子山麓の標高約1,500m前後に位置する高年齢のミズナラ群落
⑩	西ノ湖ヒメコマツ・シロヤシオ	56	乾性立地において岩角地といった特殊な立地上に成立しているヒメコマツ・シロヤシオ・アカヤシオ等の希少な群落
⑪	千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ	99	奥日光地帯の代表的樹種であるミズナラ、及び、奥日光地域でも少なくなっているハルニレの森林
⑫	戦場ヶ原湿原	175	湿原の大部分はヌマガヤ、オオアゼスゲ、ワタスゲなどが生育する中間湿原、また、湿原の中央部付近にはヒメミズゴケが厚く積もった高層湿原
⑬	高原山イラモミ	91	天然分布の北限にあたるイラモミが生育する原生林に準ずる森林
⑭	茶ノ木平ウラジロモミ	81	高年齢のウラジロモミが生育する原生林に準ずる森林
⑮	原付ヒノキ	9	天然分布の北限にあたるヒノキが生育する原生林に準ずる森林
⑯	湯滝ミズナラ遺伝資源	13	高年齢のミズナラが生育する原生林に準ずる森林
⑰	竜頭の滝カラマツ遺伝資源	13	高年齢のカラマツが生育する原生林に準ずる森林
	計	4,471	

2 木材生産と生物多様性の両立を目指す

すべての森林は、多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与しています。

主伐期を迎えたスギ等の人工林の皆伐に当たり、尾根筋や溪畔周辺などに加え、伐区内に単木的に生育している広葉樹を保残し、木材生産と生物多様性保全の両立を目指す「保持林業」の検証を進めていくこととしています。

伐採跡地では、ウサギなどの草食性の動物も増えており、植栽木への食害も課題となっています。保残した広葉樹を猛禽類の餌を探す際の止まり木などとして利用されれば、植栽木の保護対策につながるものと期待しています。



人工林内の広葉樹を保残し生物多様性の保全に寄与

3 地域と連携してニホンジカ対策を推進

奥鬼怒生物群集保護林(日光市)内にある鬼怒沼(国内希少種をはじめ希少な植物群落を有する高層湿原)では、近年急速にニホンジカによる食害が進み、貴重な植生が失われつつあります。

このため、日光地域シカ対策共同体(栃木県、日光市、環境省、日光署により組織)の枠組みにより、現地検討会を行って対策を検討し、試験的なシカ侵入防止柵を設置して植生の変化等のモニタリングを行い、今後の対策を検討しています。



関係機関との協同によるシカ柵設置の様様

2 国民の安全・安心の確保に向けた治山対策等の推進

台風や集中豪雨等による山地災害から国民の生命・財産を守るため、山地災害危険地区や氾濫した河川上流域等において、流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を推進し、災害に強い森林づくりにより、国土強靱化に向けた取組を進めます。

下桐久保沢地区(日光市)は、平成27年度の集中豪雨により直下へ大量の土砂を流出させた崩壊地です。災害直後から復旧工事を進めています。

小原地区(日光市)は、落石発生が懸念され、直下の人家等へ被害を及ぼすおそれが高いことから、落石防護柵工等による予防治山工事を行っています。



下桐久保沢地区復旧治山工事



小原地区予防治山工事

◆国民の森林(もり)としての管理経営

1 栃木県林業大学校へのフィールド提供を通じて林業人材育成を支援

栃木県と締結した「林業人材の確保・育成に向けた連携及び協力に関する協定」に基づき、栃木県林業大学校への研修フィールドとして国有林の活用を進めています。

令和8年度は、林業大学校の近郊にある鞍掛国有林(日光市)、金山国有林(宇都宮市)などにおいて、下刈、保育間伐の作業実習のほか、立木調査や森林の見方を学ぶ様々な研修プログラムが計画されており、栃木県と連携して林業人材の確保・育成を図っていくこととしています。



栃木県林業大学校の実習の様相

2 協定締結による国民参加の森づくり

多様な森林整備や保全活動に対応した森林づくり活動の場として、ボランティア団体等と協定を締結してフィールドの提供や技術支援を行う「国民参加の森林づくり」を進めています。

令和7年5月に奥日光国有林(日光市)のスキー場跡地において「多様な活動の森」の協定を締結しました。ここでは、森づくりの体験活動として首都圏などからボランティアを募り、地元関係者との交流を深め、地域全体での活性化を推進しています。これまで、特定外来種(オオハンゴンソウ)の除去やニホンジカの影響を排除するための柵の設置等を進めており、平成8年度は周辺から採取した種子を育苗して植栽し、本来の自然本来の植生である広葉樹の森へ移行させていくこととしています。



ボランティアによる特定外来種(オオハンゴンソウ)の除去の様相

森林事務所別、市町別国有林面積

森 林 事 務 所	担当区	各市町の国有林面積（h a）						計
		鬼怒川流域			渡良瀬川流域			
		日光市	宇都宮市	益子町	足利市	鹿沼市	佐野市	
藤 原	藤 原	6,748	494					7,242
川 治	川 治	5,606						5,606
三 依	三 依	6,534						6,534
	横 川	5,822						5,822
黒 部	黒 部	8,116						8,116
	川 俣	18,176						18,176
日 光	日 光	4,160						4,160
	奥日光	9,702						9,702
神子内	神子内	11,308						11,308
餅ヶ瀬	餅ヶ瀬	3,932					1,245	5,177
粕 尾	粕 尾				236	1,590		1,826
益 子	益 子			1,307				1,307
計		80,105	494	1,307	236	1,590	1,245	84,977

(注) : 令和8年4月1日有効の国有林野施業実施計画書より要存置林野の面積を計上。
 : 単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。

問い合わせ先

日光森林管理署

郵便番号 3 2 1 - 1 2 7 4
 住 所 栃木県日光市土沢1 4 7 3 - 1
 電 話 0 2 8 8 - 2 2 - 1 0 6 9
 I P 電話 0 5 0 - 3 1 6 0 - 5 9 8 0
 H P : <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/nikkou/>
 e-mail : ks_nikko_postmaster@maff.go.jp

森林事務所・治山事業所

藤原森林事務所	日光市藤原334-1	0288-77-0482
川治森林事務所	日光市藤原334-1	0288-76-3167
三依森林事務所	日光市中三依644	0288-79-0033
黒部森林事務所	日光市黒部221-3	0288-97-1010
日光森林事務所	日光市清滝安良沢町1750	0288-50-3041
神子内森林事務所	日光市足尾町3486	0288-93-2233
餅ヶ瀬森林事務所	日光市足尾町3486	0288-93-2233
粕尾森林事務所	鹿沼市下粕尾1208-2	0289-83-0004
益子森林事務所	芳賀郡益子町益子2754-3	0285-72-3109
足尾治山事業所	日光市足尾町3486	0288-93-2233